



# Red Hat JBoss BRMS 6.4

## 6.4 リリースノート

Red Hat JBoss BRMS 向けリリースノート



# Red Hat JBoss BRMS 6.4 6.4 リリースノート

---

Red Hat JBoss BRMS 向けリリースノート

Red Hat Customer Content Services  
brms-docs@redhat.com

Emily Murphy

Gemma Sheldon

Michele Haglund

Mikhail Ramendik

Stetson Robinson

Vidya Iyengar

## 法律上の通知

Copyright © 2020 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

Red Hat JBoss BRMS 6.4 向けリリースノート

---

## 目次

<b>第1章 はじめに</b> .....	<b>3</b>
1.1. RED HAT JBOSS BRMS について	3
1.2. RED HAT JBOSS BRMS 6.4 の最新情報	3
1.2.1. ユーザーインターフェースの改善	3
1.2.2. 統合およびその他	3
<b>第2章 既知の問題</b> .....	<b>5</b>
<b>第3章 修正済みの問題</b> .....	<b>6</b>
3.1. ユーザーインターフェース	6
3.2. コア	6
<b>第4章 機能拡張のリクエスト</b> .....	<b>8</b>
<b>付録A バージョン情報</b> .....	<b>9</b>



# 第1章 はじめに



## 重要

6.4 Update 6 では、データベーススキーマに変更が若干加えられています。Red Hat JBoss BPM Suite または Red Hat JBoss BRMS 6.4.6 を実行する前に、**bpms-6.4-to-7.0.sql** スクリプトをデータベースに適用する必要があります。このスクリプトは、Red Hat JBOSS BPM Suite 6.4 Update 6 および Red Hat JBOSS BRMS 6.4 Update 6 zip ファイルの **upgrade-scripts/<database-type>** ディレクトリにあります。これらのファイルは、Red Hat カスタマーポータルからダウンロードできます。

## 1.1. RED HAT JBOSS BRMS について

Red Hat JBoss BRMS は、ビジネスルール管理と複合イベント処理を組み合わせるオープンソースの意思決定管理プラットフォームであり、ビジネス上の意思決定を自動化し、そのロジックをビジネス全体で利用できるようにします。

Red Hat JBoss BRMS は、すべてのリソースが保存される集中リポジトリを使用します。これにより、ビジネス全体で一貫性や透明性を維持し、監査を行えます。ビジネスユーザーは、IT 担当者のサポートを受けることなくビジネスロジックを編集できます。

Red Hat JBoss BRMS のサポート対象構成の一覧は [Red Hat カスタマーポータル](#) で参照できます。

## 1.2. RED HAT JBOSS BRMS 6.4 の最新情報

Red Hat JBoss BRMS 6.4 は、前バージョンの 6.3 からのマイナーリリースです。このリリースの主な新機能および改善点は以下のとおりです。

### 1.2.1. ユーザーインターフェースの改善

- Realtime Decision Server は、ステータスと GAV (Maven Group ID、Artifact ID、バージョン) をベースにコンテナをフィルタリングできるようになりました。詳しい情報は、『[Red Hat JBoss BPM Suite 6.4 Development Guide](#)』の「[Listing Containers](#)」および「[Unmanaged Intelligent Process Server Environment](#)」セクションを参照してください。
- ガイド付きのルールエディターでは、複合フィールドの制約に関する公式を使用できるようになりました。制約をパターンに追加する場合に、**複数フィールドの制約** を選択できることで (All of (and) と Any of (or)) 式に加えて公式の使用がサポートされるようになりました。詳しい情報は、『[Red Hat JBoss BRMS 6.4 ユーザーガイド](#)』の「[ガイド付きルールテンプレートの WHEN 条件](#)」セクションを参照してください。

### 1.2.2. 統合およびその他

- Google Chrome のブラウザーバージョン 54.0.2840.7 がサポートされるようになりました。
- Red Hat JBoss BRMS 6.4 ではロシア語と繁体中国語のサポートがなくなりました。
- Red Hat JBoss BRMS 6.4 では、Java 開発キット (JDK) のバージョン 6 のサポートがなくなりました。
- Red Hat JBoss Developer Studio Integration Stack 10.0.0.GA は Red Hat JBoss BRMS 6.4 をサポートします。

- Red Hat JBoss Fuse 6.3 の統合パックには Red Hat JBoss BRMS 6.4 が同梱されるようになり、サポートも追加されました。
- JBoss Operations Network (JON) 3.3 プラグインの更新 0.4 は、Red Hat JBoss BRMS 6.4 で利用できるようになりました。
- Spring の統合は、Spring 3.x から 4.3 にアップグレードされました。
- Blueprint の統合で KieScanner のサポートが提供されるようになりました。詳しい情報は、『Red Hat JBoss BRMS 6.4 管理および設定ガイド』の「[Aries Blueprint との統合](#)」の章を参照してください。
- マルチバイトの名前が指定されたスプレッドシートをアップロードする際に表示されていたエラーメッセージが改善されました。エラーメッセージのアセット名が人間が判読可能な形式になり、簡単にトラブルシューティングできるようになりました。



## 第2章 既知の問題

以下は Red Hat JBoss BRMS 6.4 の既知の問題です。

### [GPS] (6.4.z) 非同期タスクの優先順位を指定する機能 [RHBPMS-4778]

6.4 Update 6 では、データベーススキーマに変更が若干加えられています。Red Hat JBoss BPM Suite または Red Hat JBoss BRMS 6.4.6 を実行する前に、**bpms-6.4-to-7.0.sql** スクリプトをデータベースに適用する必要があります。このスクリプトは、Red Hat JBOSS BPM Suite 6.4 Update 6 および Red Hat JBOSS BRMS 6.4 Update 6 zip ファイルの **upgrade-scripts/<database-type>** ディレクトリにあります。これらのファイルは、Red Hat カスタマーポータルからダウンロードできます。

次の移動をすべて実行できない場合に、**optaplanner** が途中で停止します。時間をベースにプロセスが中断されるように指定されていない場合にはサイクルが永久に続いてしまいます。[RHBRMS-1726]

Business Resource Planner がすべてのエンティティを移動できない状態にある場合には、Business Resource Planner は停止してしまい、時間をベースにした中断でしか、プロセスを中断できません。この問題を回避するには、**Solver.terminateEarly()** メソッドを呼び出してサイクルを終了させてください。

「contains」の演算子を使用すると、ガイド付きルールなどで、列挙からの値に引用符が追加されません。[RHBRMS-2577]

ガイド付きルール、ガイド付きデシジョンテーブル、ガイド付きデシジョンテンプレートのフィールドに列挙を使用する場合に、投入されるルールには、引用符 (") 内に列挙のドロップダウンから選択した値が含まれず、検証エラーが発生します。現在、この問題の回避策はありません。

ModifyCommand が変更され、後方互換がなくなりました。[RHBRMS-2703]

**org.drools.core.command.runtime.rule.ModifyCommand** の JAXB マーシャル形式が変更され、後方互換の対応がなくなりました。マーシャルされたコマンド向けに XML を手動で作成する場合、XML でマーシャルするために JAXB によってアノテーションが付けられた属性を変更する必要があります。詳しい情報は、『Red Hat JBoss BPM Suite 6.4 Migration Guide』の「[Migrating from 6.X to 6.4](#)」の項を参照してください。

Managed KIE Servers do not work with latest Red Hat JBoss EAP security patch for Jackson [RHBPMS-5192]

When using Red Hat JBoss EAP 6.4.20 with Red Hat JBoss BRMS 6.4.10, enabling the Realtime Decision Server by uncommenting the block of system properties in **standalone.xml** results in Jackson deserialization failures, and the Realtime Decision Server fails to deploy in Business Central. This is caused by a Jackson fix introduced in the Red Hat JBoss EAP 6.4.20 patch. For more information, see the [JBoss Enterprise Application Platform 6.4 Update 20 Release Notes](#) . To protect Red Hat JBoss EAP 6.4.20 from Jackson databind deserialization vulnerabilities, you must start the server with the following system properties:

```
-Djackson.deserialization.whitelist.packages=
```

Using an empty string allows all classes for serialization. This setting is insecure and not recommended in production.

```
-Djackson.deserialization.whitelist.packages=org.kie,org.drools,other.custom.package
```

For a secure configuration, add all of the packages in a comma separated list to the property which needs to be serialized. The **org.kie** and **org.drools** packages are mandatory.

## 第3章 修正済みの問題

以下は、Red Hat JBoss BRMS のバージョン 6.4 で修正された優先度の高い問題で、コンポーネントごとに分類されています。

### 3.1. ユーザーインターフェース

表3.1バージョン 6.4 で解決された Business Central の問題

問題	説明
<a href="#">RHBRMS-2626</a>	特定の状況で、スプレッドシートのコンパイルに失敗していました。
<a href="#">RHBRMS-1265</a>	business-central のルール検証が非常に遅くなっていました。
<a href="#">RHBRMS-2476</a>	親がある場合には、Business Central のプロジェクトエディターでプロジェクトの GAV 情報を編集することができていました。
<a href="#">RHBRMS-2572</a>	ガイド付きルールのテンプレート: literal 制約がテンプレートの制約に続く場合に不正な DRL を生成していました。
<a href="#">RHBRMS-2638</a>	ファイルシステムがないと JGitFileSystemProvider.commit() の例外が発生していました。
<a href="#">RHBRMS-2620</a>	マルチスレッドで負荷の高い状況で Phreak でエラーが発生していました。
<a href="#">RHBPMS-4275</a>	[6.4.0][ガイド付きデシジョンテーブル] xls の検証ができませんでした。

### 3.2. コア

表3.2バージョン 6.4 で解決された BRE と Core の問題

問題	説明
<a href="#">RHBRMS-2538</a>	PhreakJoinNode.updateChildLeftTuple で LHS NullPointerException が発生していました。
<a href="#">RHBRMS-2534</a>	Decision Server の java クライアント設定でカスタムの HTTP ヘッダーのサポートが必要でした。
<a href="#">RHBRMS-2627</a>	Drools タイマーはミリ秒単位を切り捨てて開始されていました。
<a href="#">RHBRMS-2619</a>	条件の順番によりルールのコンパイルに失敗していました。
<a href="#">RHBRMS-2451</a>	DialectUtil.normalizeRuleName() により、マルチバイトのルール名が正規化されませんでした。
<a href="#">RHBRMS-2481</a>	マルチバイトのバインド変数名は java ダイアクトを使用すると失敗していました。

問題	説明
RHBRMS-2484	KieScanner でメモリーがリークしていました。
RHBRMS-2682	必要ないにも拘らず、window:time でイベントを変更するようにトリガーされていました。
RHBRMS-2641	InternalFactHandle.isValid が false を返しているにも拘らず、監査ログが有効化されている場合には評価されていました。

## 第4章 機能拡張のリクエスト

以下は、お客様によって報告された機能拡張リクエストのうち、Red Hat JBoss BRMS のバージョン 6.4 で実装されたものです。

表4.1バージョン 6.4 で実装された Red Hat JBoss BRMS の機能拡張リクエスト

問題	説明
<a href="#">RHBRMS-2642</a>	KieContainer.newKieSession((String) null) は、getKieSessionModel(null) と一貫性のあるデフォルトの ksession を返す必要があります。
<a href="#">RHBRMS-2610</a>	ガイド付きデシジョンテーブルエディター: キャッシュの列挙検索に対するサポートが追加されました。
<a href="#">RHBRMS-2599</a>	MemoryUtil では、Google App Engine 上で NoClassDefFoundError で機能しなくなるべきではありません。
<a href="#">RHBRMS-2596</a>	(6.5.x) GDT エディター: ドメインオブジェクトに対して、条件 BRL のフラグメントとして、Literal の値またはテンプレートキーを指定できません。
<a href="#">RHBRMS-2534</a>	Decision Server の java クライアント設定でカスタムの HTTP ヘッダーのサポートが必要でした。
<a href="#">RHBRMS-2476</a>	親がある場合には、Business Central のプロジェクトエディターでプロジェクトの GAV 情報を編集することができていました。
<a href="#">RHBRMS-2449</a>	XStream マーシャラーは、NameCoder で設定できません。

## 付録A バージョン情報

Documentation last updated on: Wednesday, Oct 23, 2019.